

施工マニュアル

ベステックチャンバーリベットメント

— 特性 —

ベステックチャンバーリベットメントは河岸および池岸部など、様々な護岸を安定化させるために用いるネットフトンカゴです。鉄線フトンカゴと異なり、ポリプロピレンネットに礫を充填して使用するため、柔軟性に富み、複雑な河岸や高低差にも対応できます。また、チャンバーリベットメントはおよそ 40 cm の隔壁で仕切られているため、屈撓しても充填材料の偏りが少なく、一定の厚さを保つため、護岸機能に優れます。もし、何かのインパクトでネットの一部分が破断しても隔壁により充填材料が全部流出することはありません。

親水性のある現場においては、鉄線（特に劣化による破断部）で足を切るといったケガの恐れがないため、安全性の高い護岸材として用いられます。

完成品として現場に納品しますので、現場で礫を充填する必要が無く、容易且つ早期に設置施工することが可能です。また、現場で採取される材料を使用する場合は専門のスタッフを派遣し、製品生産を行います。

— 仕様 —

ベステックチャンバーリベットメント

■ KDW-2000 :

寸法 … L2.0m (±5%) × W2.0m (±5%)
× T0.2m (−10% ~ +30%)

空中重量 … 270kg/m² ±10%

■ KDW-4000 :

寸法 … L4.0m (±5%) × W2.0m (±5%)
× T0.2m (−10% ~ +30%)

空中重量 … 270kg/m² ±10%

※ ただし、空中重量は充填材料の粒径や性質によって変わります。



チャンバーリベットメント (KDW4000)

ネット: 耐候性マルチフィラメントポリプロピレン無結節ネット, 呼径およそ 5mm, 網目サイズ約 45mm

— ベステックチャンバーリベットメント設置の流れ —

1. 位置出し・床ごしらえ
2. 設置
3. 固定及び結束
4. 施工終了時の確認

設置は以上の手順で進めてください。現場の状況によっては、この手順で進めることが困難な場合があります。その場合は、ベストマングリーンシステム協会が適切なアドバイスを致します。

以下に各項目について説明を記載しておりますので、施工に際しましては必ず目を通してから行って下さい。また、植物を植栽する場合に関しましては、誤った施工をされますと植物が良好に活着しないばかりか、場合によっては枯死してしまうおそれもありますので、植物の取り扱いには十分にご注意下さい。

本施工マニュアルは、ベステックチャンバーリベットメントを水際の護岸材として設置する事を前提としての施工マニュアルとなっております。

— 設置に際しての注意事項 —

ベステックチャンバーリベットメントは、通常のフトンカゴとしての用途を始めとして、河岸の局所洗掘による破壊の防止や複雑な河岸形状の復元、寝固めとして用いることが可能ですが、正しい施工が行われなかった場合や、極端な急勾配等に設置された場合、その機能を十分に発揮できない場合があります。また、使用の目的によって施工方法も変わります。製品の設置場所や施工方法についてはベストマングリーンシステム協会が適切なアドバイスを致します。



中詰材が割栗石のチャンバーリベットメント



中詰材が玉石のチャンバーリベットメント

1. 位置出し・床ごしらえ

設計に従って、チャンバーリベットメントの設置する位置だし及び床ごしらえをお願いします。

製品は 2m 及び 4m 製品ですが、40 cm 程度の隔壁がありますので、40 cm 単位で法長に合わせることができます。

つまり、5m の法長の場合、2m 製品を 2 基あるいは 4m 製品を 1 基と、1.2m 製品を 1 基組み合わせ、5m 以上を確保いたします。

そのため、位置だしは製品の形状に合わせた形の位置だしをお願いします。



2. 設置

チャンバーリベットメントの設置は、ラフタークレーンあるいは移動式クレーンと専用吊り具を用いて行います。

チャンバーリベットメントは重量があるため、製品を吊り上げる際はネットがクロスした部分を必ず 2 箇所フックにかけてください。

設置は下端の位置を決め、法面に沿ってゆっくりと降ろします。

専用の吊り具を挿入している場合は吊り具を引き抜いてください。



3. 固定及び結束

チャンバーリベットメントを設置したら、製品を連結させるため結束を行います。結束は専用のポリプロピレンロープ（呼径φ5mm）を使用します。製品と製品が接する辺はすべて連結を行います。連結は製品のネットとネットをらせん状に編みこんでいきます。



通常は自重のみで十分に護岸として機能しますが、地盤が緩い場合や、河川等において特に水衝部にあたるような場合にはより強固な固定を図るために固定にL型鉄筋杭を2㎡/本程度設置します。L型鉄筋杭は、D16mm, L600mmを用いますが、基盤の固さによって検討が必要です。



4. 施工終了時の確認

全ての工程が終了したらチャンバーリベットメントに何らかの破損がないか確認して下さい。

万が一、チャンバーリベットメントのネットが切れていた場合には、ポリプロピレンロープ

(呼径φ5mm)で補修してください。

チャンバーリベットメントのネットは耐候性マルチフィラメントポリプロピレン無結節ネットが使用されているため、部分的にネットが破損しても全体が解れることはありませんが、施工時に破損していた場合は必ず補修を行ってください。

